

令和3年度事業報告書

第1 清掃

1 施設

(1) 船舶

船名	総トン数	主機関	速力	乗組員	集積能力	形式	備考
清港丸	19.0t	ディーゼル 345 ^{PS} ×2基	10.0kt	4名	20m ³	ディーゼルターボ式	名古屋港管理組合から無償借受け
あゆち	14.0t	ディーゼル 130 ^{PS} ×2基	7.0 kt	3名	12m ³	ディーゼルターボ式	
きよかわ	4.9t	ディーゼル 112.8 ^{PS} ×1基	8.5 kt	3名	3m ³	曳舟兼清掃船	
塵芥運搬船	—	無動力	—	—	30m ³	—	

(2) 土地及び建物

用途	所在地	土地面積	建物面積	備考
事務所及び船舶基地	港区作倉町1番95号	984.95 m ²	175.52 m ²	名古屋港管理組合から無償借受け
作倉作業基地	港区作倉町101番	991.48 m ²		// (含護岸敷)
中川作業所	中川運河南幹線11号地以南	159.48 m ²		// (土地)

(3) 起重機

種別	形式	設置場所	用途	備考
1.0 t	デリッククレーン	中川作業所	塵芥陸揚げ用	名古屋港管理組合から無償借受け
2.8 t	ジブクレーン	作倉作業基地	//	//

2 人員

職名	副会長兼 常務理事	事務局長	事務員	班長	副班長	作業員	計	備考
人数	1名	1名	1名(※)	1名	1名	2名	7名	※ 大型漂流物除去等事業と兼務

3 作業内容

(1) 区域別形態

清掃区域	使用船舶	作業員数	基地	搬出処理作業	搬出先
港内	清港丸	3名	作倉作業基地	可燃ゴミについては、基地（作業所）据付のクレーンと名古屋市から配車するトラック及び本会借上げトラックで行う。可燃ゴミ以外の産業廃棄物については、収集運搬・処分を産業廃棄物処理業者に委託する。	名古屋市五条川工場 及び 産業廃棄物処理業者が 所有する工場
	あゆち	3名			
堀川	きよかわ (塵芥運搬船)	3名			
新堀川					
中川運河	きよかわ (塵芥運搬船)	3名	作倉作業基地 / 中川作業所		

ア 作業予定表に従い、名古屋港内を清掃船「清港丸」及び「あゆち」によって、悪天候と土日祝日を除き毎日巡回清掃を行った。

特に、ガーデンふ頭は名古屋港の表玄関として多数の来港者があるため、春から秋にかけて船溜りを重点的に清掃した。

8月中旬、本州付近に前線が停滞。西日本から東日本の広い範囲で大雨。この影響により、金城ふ頭を中心に大量の浮遊塵芥が発生した。これにより、8月だけで年間塵芥回収量の約3分の1に相当する633m³の塵芥を回収した。また、愛知県に接近通過した台風（9月の台風10号、10月の台風14号）による大量塵芥に対応した。



▲ 8月16日金城ふ頭 大雨後



▲ 金城ふ頭 「清港丸」による清掃作業

イ 作業予定表に従い、堀川、新堀川、中川運河を「きよかわ」で適宜清掃を行った。

中川運河については、全域にわたって必要に応じ清掃を実施し、特に松重ポンプ所及び中川口ポンプ所付近に汚物、塵芥が集結するため月平均4回清掃を行った。

また、中川口通船門の閘室を中心に発生した浮遊死魚の処理を実施した。処理実績は『6ページ（3）浮遊死魚処理』のとおりである。

ウ 主な塵芥の種類は、流木（小）、木片、竹、葦、パレット、発泡スチロール、プラスチック容器、ビニール製品、ガラス瓶、ペットボトル、缶、紙屑、及び家庭廃品類等がある。

(2) 流出油処理

処理件数 0件。

本会に係る令和3年度の流出油処理はなかった。

4 塵芥別処理実績

(1) 清掃区域別処理実績

内訳 月別	内 港		南 部		西 部		堀 川		新 堀 川		中 川 運 河		計		備 考	
	回数	塵芥(m)	回数	塵芥(m)	回数	塵芥(m)	回数	塵芥(m)	回数	塵芥(m)	回数	塵芥(m)	回数	塵芥(m)		
令和3年	4	21	139.5	11	23.5	5	4.0	4	3.0	2	1.0	5	5.0	48	176.0	
〃	5	16	381.5	10	25.0	2	20.5	9	5.5	1	0.5	3	3.5	41	436.5	死魚 25,000匹
〃	6	17	28.5	12	24.0	10	5.0	16	9.0	2	1.0	4	8.0	61	75.5	
〃	7	19	181.0	5	17.0	3	1.5	13	10.5	2	1.0	3	3.5	45	214.5	
〃	8	20	600.0	5	11.5	2	3.5	8	8.5	2	1.0	3	8.5	40	633.0	
〃	9	19	187.5	9	72.0	2	1.0	16	43.0	2	1.0	1	1.0	49	305.5	
〃	10	19	22.5	11	13.0	6	3.0	14	7.5	2	1.0	5	5.5	57	52.5	
〃	11	17	20.0	8	20.5	4	2.0	14	8.5	1	0.5	4	4.0	48	55.5	
〃	12	14	23.5	4	8.0	4	2.0	11	6.5	2	1.0	4	4.5	39	45.5	
令和4年	1	15	24.0	12	28.0	9	4.5	12	6.5	2	1.0	4	4.5	54	68.5	
〃	2	11	13.0	14	18.5	5	2.5	9	5.0	2	1.0	2	2.0	43	42.0	
〃	3	21	38.0	16	27.5	4	2.0	9	4.5	1	0.5	3	3.0	54	75.5	
計		209	1,659.0	117	288.5	56	51.5	135	118.0	21	10.5	41	53.0	579	2,180.5	死魚 25,000匹

◆ 年度別実績

内訳 年度別	内 港		南 部		西 部		堀 川		新 堀 川		中 川 運 河		計		備 考
	回数	塵芥(m)	回数	塵芥(m)	回数	塵芥(m)	回数	塵芥(m)	回数	塵芥(m)	回数	塵芥(m)	回数	塵芥(m)	
平成 17	238	616.5	162	410.0	69	120.5	148	213.0	12	8.5	23	44.5	652	1,413.0	死魚 14,121匹
〃 18	289	1,162.5	171	550.0	61	67.5	112	170.0	11	6.0	18	47.0	662	2,003.0	死魚 15,982匹
〃 19	277	658.5	145	465.5	7	8.0	117	132.0	5	2.5	16	31.5	567	1,298.0	死魚 129,580匹
〃 20	269	1,348.0	133	529.5	5	12.0	118	120.0	12	6.5	17	41.0	554	2,057.0	死魚 8,020匹
〃 21	256	1,571.2	123	580.5	21	42.0	129	133.5	21	12.5	23	52.0	573	2,391.7	死魚 265,800匹
〃 22	295	1,285.5	144	443.5	39	77.5	174	196.0	18	12.5	23	62.5	693	2,077.5	死魚 679,350匹
〃 23	268	1,513.5	140	694.5	30	67.5	166	153.5	22	13.5	22	51.0	648	2,493.5	死魚 896,900匹
〃 24	277	1,171.5	160	436.5	15	19.0	166	197.5	23	13.0	24	70.5	665	1,908.0	死魚 56,340匹
〃 25	265	1,564.0	95	349.5	19	15.5	159	186.0	17	9.0	24	58.0	579	2,182.0	死魚 254,600匹
〃 26	230	992.5	75	456.0	12	32.5	168	179.5	17	8.5	29	50.5	531	1,719.5	死魚 61,200匹
〃 27	185	572.5	61	225.5	16	21.0	157	137.5	24	13.6	29	45.0	472	1,015.1	死魚 824,480匹
〃 28	212	1,824.0	67	358.5	15	22.5	143	114.5	19	10.0	20	38.5	476	2,368.0	死魚 992,000匹
〃 29	224	2,353.0	91	365.5	17	17.0	104	98.0	15	8.0	44	83.0	495	2,924.5	死魚 1,384,766匹
〃 30	216	1,008.0	92	310.5	33	34.5	147	114.0	13	7.5	49	85.0	550	1,559.5	死魚 180,000匹
令和 元	212	1,127.0	106	310.0	36	31.5	128	95.0	20	10.0	42	72.0	544	1,645.5	死魚 20,700匹
〃 2	215	1,512.0	119	264.5	37	20.0	160	138.0	20	10.5	48	65.5	599	2,010.5	死魚 198,760匹
〃 3	209	1,659.0	117	288.5	56	51.5	135	118.0	21	10.5	41	53.0	579	2,180.5	死魚 25,000匹

(2) 河川大清掃

河川大清掃を令和3年10月20日から10月28日まで行った。実績は次のとおりである。

◆ 河川大清掃実績表

年月日	種 別	河 川 名	出 動 人 員 及 び 船 舶			塵 芥	区 間	備 考
			清港会	業 者	船 舶			
3年 10月20日	(水)	堀 川	5人	6人	1隻	0.5 m ³	松重橋～尾頭橋	
10月21日	(木)	新 堀 川	3人	—	1隻	0.5 m ³	内田橋～堀留	
10月22日	(金)	中川運河	3人	—	1隻	1.5 m ³	中川閘門～堀止	
10月25日	(月)	堀 川	3人	—	1隻	0.5 m ³	尾頭橋～瓶屋橋	
10月26日	(火)	〃	3人	—	1隻	0.5 m ³	巾下橋～松重橋	
10月27日	(水)	〃	3人	—	1隻	0.5 m ³	瓶屋橋～大瀬子橋	
10月28日	(木)	〃	3人	—	1隻	0.5 m ³	大瀬小橋～堀川水門	
合 計			23人	6人	7隻	4.5 m ³		

(3) 浮遊死魚処理

浮遊死魚を発見後、清掃船を急行させ迅速に処理作業を行った。実績は次のとおりである。

年月日	種別	作業船舶	人員	処理量	種類	作業時間	場所
3年 5月19日		清港丸	2人	5,000匹	コノシロ	13:15~15:45	中川運河 中川閘室
	5月20日	清港丸	2人	8,000匹	コノシロ	6:30~9:45	中川運河 中川閘室
	5月21日	清港丸	2人	10,000匹	コノシロ	6:45~8:45	中川運河 中川閘室
	〃	きよかわ	3人	1,000匹	コノシロ	8:30~9:30	中川運河 中川閘室
	〃	きよかわ	3人	500匹	コノシロ	14:00~15:00	中川運河 中川閘室
	5月24日	清港丸	2人	500匹	コノシロ	6:45~7:45	中川運河 中川閘室
	合計		14人	25,000匹		10時間45分	

5 啓発・宣伝

- (1) 例年、名古屋港内の美化と公衆衛生のため、名古屋市の「環境学習ウィーク・トライ&アクション」事業の一環として、「海のおそうじ屋さんを見学」と称した清掃作業見学会を開催しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。
- (2) 清港会の「あらまし」及びリーフレット「海のおそうじ屋さん」を、各関係機関及び一般市民に配布し、啓発に努めた。
- (3) 本会の各清掃船に「港や川をきれいにしましょう」のプレートを常時取付け、港湾利用者等に港湾美化を呼びかけた。
- (4) 6月の海洋環境保全推進月間中、「港や川をきれいにしましょう」の横断幕を南極観測船ふじ及び船だまりに掲げ啓発活動を行った。10月17日（日）に開催された名古屋レガッタに合わせ、中川運河沿いに横断幕を掲げ港内美化を呼びかけた。



▲ 南極観測船ふじ 横断幕



▲ 中川運河 横断幕

- (5) 8月4日、名古屋港管理組合主催のみなと体験ツアーが開催された。地域産業や暮らしを支える名古屋港を海上から船で見学するツアーで、港務艇「ぽーとおぶなごや2」に乗船し名古屋港を遊覧する。この日は環境・景観コースということで、港の環境を守る船として「清港丸」が紹介された。また、「ぽーとおぶなごや2」船内に「清港丸」が回収した海洋ゴミの一部が展示された。

- (6) 8月20日、海と日本プロジェクト in 愛知県実行委員会は、小学校高学年でも海洋ごみ問題についてしっかりと学習できるESD教材のテキスト教本と動画を制作した。この教材は、日本財団が推進する海洋ごみ対策プロジェクト「海と日本プロジェクト・CHANGE FOR THE BLUE」の一環で制作された。

この制作に際し、本会も写真と動画データの提供という形で協力した。テキスト教本と動画内で名古屋清港会のとりくみについて紹介されている。テキスト教本のダウンロードと動画の視聴は、テレビ愛知 海と日本プロジェクト公式サイトにて自由に行うことができる。

◇テレビ愛知 海と日本プロジェクト公式サイト

https://tv-aichi.co.jp/aichi_uminohi/



▲ テキスト教本（表紙）



▲ 動画（YouTube）

- (7) 恒例の河川大清掃を令和3年10月20日から10月28日まで、名古屋港管理組合、名古屋市及び堀川、新堀川、中川運河沿線の木材業者の協力を得て、名古屋水上交通組合と共催で実施した。また、河川大清掃の初日には、名古屋木材会館にて河川大清掃出発式を行った。昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して執り行った。

河川大清掃期間中、船に「港や川をきれいにしましょう」の横断幕を掲げ、堀川、新堀川及び中川運河において、港や川の汚染防止を呼びかけた。

河川大清掃出発式終了後、ポート・オブ・ナゴヤ・アミティ・スタッフが、市民にリーフレット及びタオル等を配布した。



▲ 河川大清掃出発式



▲ タオル等配布（啓発活動）

(8) 例年、久屋大通公園で開催される「環境デーなごや」実行委員会主催「環境デーなごや」は、新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、昨年に引き続き「おうちで環境デーなごや」と称したチラシやウェブサイトにより自宅で参加できる形式になって開催された。令和3年12月1日(水)から令和4年1月6日(木)までの開催となり、本会も動画を出展し、本会事業の周知を行うとともに、港湾及び河川の美化に対する啓発宣伝活動を行った。

また、令和3年12月11日(土)・12日(日)にイオンモールナゴヤドーム前店にて、【出張！環境デーなごや】パネル展示会が開催され、本会のパネルが展示された。



▲ 出展動画 (スクリーンキャプチャ)



▲ 【出張！環境デーなごや】パネル展示会

(9) 名古屋港水族館の南館3階に海の環境問題をメインテーマとした「エコ・アクアリウム」が常設展示されている。水族館で日本初の常設の環境教育ルームで、プラスチックごみが海や生物に与える影響や海洋環境について、パネルや大型モニタ、顕微鏡を活用し解説している。同展示の一角に本会の清掃活動の紹介と環境保護の啓発を目的とした、動画やパネル、清港丸で回収した海洋プラスチックごみの展示を行っている。



▲ 「エコ・アクアリウム」展示物



▲ 「エコ・アクアリウム」展示物(2)

第2 大型漂流物除去等

- 1 令和3年度大型漂流物除去等については、前年度と同様に名古屋港管理組合から委託を受け、名古屋港港湾区域内（河川区域を除く）を作業船により悪天候と土日祝日を除くほぼ毎日巡回し航行船舶の障害となる大型漂流物の収集作業を行った。緊急の場合は携帯電話で連絡を取り対応した。

収集した大型漂流物のうち、流木は、新宝ふ頭に設置してある「アバ」内に集積し、5月21日、6月7日、8月25日、9月24日、3月29日に陸揚げ作業を実施し、乾燥後、5月21日、9月24日、3月29日に処分（チップ化）を行った。それ以外の収集した大型漂流物については作倉基地に集積し、適宜、産業廃棄物処理業者に収集運搬・処分を委託した。

なお、家電については、家電リサイクル法に基づき適切に処理した。



▲ 新宝ふ頭「アバ」 流木集積



▲ 陸揚げし乾燥後に運搬処分

- 2 主な大型漂流物の種類は、丸太、角材、板、沈廃船（ボート）、ドラム缶、プロパンボンベ、ビニールシート、タイヤ、冷蔵庫、洗濯機、ベッドマット、ふとん、タンス類、自転車、バイク等である。

- 3 本年度は、沈廃船を産業廃棄物として、2隻処理した。



▲ タイヤや冷蔵庫など



▲ 沈廃船2隻など

- 4 使用船舶

船名	総 吨 数	主 機 関	速 力	作 業 員	備 考
そうかい	7.9ト	ディーゼル320PS×1基	15.7ノット	3名	名古屋港管理組合から無償借受け

5 土地

用途	所在地	土地面積	備考
港内における大型漂流物陸揚げ処理のため	東海市新宝町 25-1	1,390.76 m ²	名古屋港管理組合から無償借受け

6 人員

職名	副班長	事務員	作業員	計	備考
人数	1名	1名(※)	1名	3名	※ 清掃事業と兼務

7 大型漂流物陸揚げ処理及び沈廃船処理実績

地区別	新宝ふ頭陸揚げ処理		廃棄物処理 (沈廃船)	備考
	陸揚げ	処理		
件数	5回	3回	2隻	

8 収集及び陸揚げ実績

種類 月別	丸太		角材		板		船材	木工品	工業品	その他	陸揚げ 処理量 (t)	
	2m 未満	2m 以上	2m 未満	2m 以上	2m 未満	2m 以上	沈船及 び廃船 等	パレット,パ ニヤ,木片及び 箱等	タイヤ,ドラ ム,プロパン ボンバ等	竹材,ロー プ,ビニール ト、菰等		
R3年	4	30	23	12	6	5	88	0	105	5	58	
	5	49	114	9	3	4	9	1	207	3	227	20.35
	6	43	67	6	8	1	4	0	94	4	121	
	7	41	32	9	0	2	3	0	104	5	62	
	8	43	123	0	2	1	0	0	191	9	155	
	9	86	99	7	11	4	11	0	220	14	152	16.74
	10	22	16	8	5	1	3	0	20	3	27	
	11	22	30	5	6	3	5	0	34	4	22	
R4年	12	23	15	9	9	0	9	0	27	0	39	
	1	16	13	8	3	5	8	0	17	2	31	
	2	10	3	9	5	6	5	0	18	2	25	
	3	11	7	9	1	2	1	0	21	1	25	12.25
計	本 396	本 542	本 91	本 59	枚 34	枚 146	隻 1	個 1,058	個 52	個 944	t 49.34	

※ 陸揚げ処理量(t)は、新宝ふ頭に設置してある「アバ」内の大型漂流物(流木)を陸揚げし、乾燥後、搬出処分(チップ化)した処理量